

仁王門「重要文化財」



金堂「国宝」



法明院  
フエノサの墓

新羅善神堂

光浄院

教待堂

二釈迦堂

駐車場

駐車場

**一 仁王門**「重要文化財」  
宝徳四年（一四五二）の建立。浄域への表門として慶長六年（一六〇二）、徳川家康により甲賀の常楽寺より移築、寄進された。

**二 釈迦堂**「重要文化財」  
室町初期の建築で、中世寺院の食堂じきどこの様子を伝える。本尊に清涼寺式釈迦如来をまつる。

**三 金堂**「本堂・国宝」  
当寺の総本堂。本尊の弥勒仏は天智天皇が信仰されていた霊像で、秘仏として静かになつて来ている。現在の建築は、豊臣秀吉の北政所により慶長四年（一五九九）に再建された。桃山時代を代表する名建築として知られている。

**四 鐘楼**「三井晩鐘・重要文化財」  
慶長七年（一六〇二）の再建。梵鐘は、近江八景「三井の晩鐘」で知られる。宇治の平等院、高尾の神護寺と共に日本三銘鐘に数えられ、荘厳な音色は有名で、「日本の残したい音風景百選」にも選ばれている。

**五 閼伽井屋**「三井の霊泉・重要文化財」  
天智、天武、持統の三天皇が産湯に用いられたという泉が湧く。泉を護る覆屋は慶長五年（一六〇〇）の建立。正面上部にある左甚五郎作の龍の彫刻で有名。

**六 霊鐘堂**「弁慶の引摺り鐘・重要文化財」  
奈良時代の梵鐘。依藤太秀郷が三上山の百足退治のお礼に童宮から持ち帰ったと伝えられる。また、中世の「一山寺兩門の争い」を象徴する「弁慶の引摺り鐘」伝説で知られる。

**七 一切経蔵**「重要文化財」  
室町初期の建築で、慶長七年（一六〇二）、戦国大名・毛利輝元により山口県・国清寺より移築、寄進された。室内には高麗版一切経を納める回転式の八角輪蔵がある。

**八 唐院**「重要文化財」  
当寺の開祖・智証大師円珍和尚（八一四〜八九二）の廟所として最も神聖な場所。唐院の名は智証大師が入唐求法の旅で持ち帰った経典類を納めたことに由来する。

**九 微妙寺**  
三井寺の五別所のひとつで現地に移築した。本尊は十一面観音（重文・平安初期）で、現在は湖国十一面観音霊場の第一番札所となっている。

**十 毘沙門堂**「重要文化財」  
元和二年（一六一六）の建立で、極彩色に荘厳された優美な建築。

**十一 西国十四番札所 観音堂**「県指定文化財」  
西国三十三所観音霊場の第十四番札所。本尊は如意輪観音（重文・平安時代）で、三十三年ごとに開扉される秘仏。琵琶湖を眺望する境内には元禄二年（一六八九）再建の観音堂を中心に諸堂が並び札所伽藍を構成する。

**十二 水観寺**「県指定文化財」  
●百体堂／宝暦三年（一七五三）  
●鐘楼／文化十一年（一八一四）  
●観月舞台／嘉永三年（一八四九）  
●以上、県指定文化財  
●絵馬堂／享和二年（一八〇二）  
●世継地蔵堂／文政二年（一八一九）  
●手水舎／明治十四年（一八八二）  
●以上、市指定文化財

**十三 護法善神堂**「千回子社・市指定文化財」  
子供の守り神、鬼子母神（阿梨帝母）をまつる。毎年五月の祭礼は「千回子さん」で親しまれ、子供の無事成長、安産を祈る人々でにぎわう。現在の建物は享保十二年（一七二七）の再建。

**三井の晩鐘**  
三井の晩鐘  
鐘楼「重要文化財」  
閼伽井屋「重要文化財」  
一切経蔵「重要文化財」  
観音堂「西国十四番札所」  
三重塔「重要文化財」  
仁王門「重要文化財」  
金堂「国宝」  
法明院  
フエノサの墓  
新羅善神堂  
光浄院  
教待堂  
二釈迦堂  
駐車場  
駐車場

長箬山  
三井の晩鐘  
鐘楼「重要文化財」  
閼伽井屋「重要文化財」  
一切経蔵「重要文化財」  
観音堂「西国十四番札所」  
三重塔「重要文化財」  
仁王門「重要文化財」  
金堂「国宝」  
法明院  
フエノサの墓  
新羅善神堂  
光浄院  
教待堂  
二釈迦堂  
駐車場  
駐車場